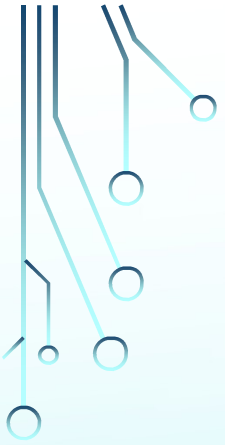


高齢者施設入所者の服薬管理等支援事業 ～令和7年度施設訪問報告書～

カナザワ薬局緑町店 金澤白華

訪問参加者

ベテルホームすさき	管理者	大崎 幸恵
めいわ薬局	薬剤師	市川千賀子
カナザワ薬局緑町店	薬剤師	金澤 白華
須崎福祉保健所	医事薬事担当	池田 里美



施設からの主な課題

- ①残薬調整
 - ②お薬管理の負担軽減の工夫
 - ③誤投薬時の対応について
- 
- 
- 

課題①残薬調整

◆施設より

残薬(内服、外用湿布、目薬など)があるが、対応しきれない。
入居者ごとに薬局も違うため、対応が難しいところがある。

◆薬剤師より

残薬数が把握できれば即対応可能。
あらかじめ残薬を教えていただく、もしくは、
都度薬局から施設に連絡し残薬の確認など行うことで対応可能。

課題②お薬管理の負担軽減の工夫

◆施設より

管理者一人に対応している為、
配薬など少しでも負担が減るようにしてもらえるとありがたい。
できるだけ1回で飲む分は、まとめてもらいたい。

◆薬剤師より

一包化できるものは一つに、反復で作る方が負担の軽減に。
漢方なども日付・名前・用法を入れて一目でわかるように作成
など対応。

課題③誤投薬時の対応について

◆施設より

R8.1月より誤投薬時に医師の指示が必要となった。

すぐに医師とは連絡取れないためどうすればいいか。

◆薬剤師より

薬局に連絡いただき、病院や診療所への対応は可能。

但し時間外の場合、対応ができないことも考えられるため、
病院、診療所での窓口対応が必要と思われる。

今後の介入予定

- 施設より、レクリエーションや医薬品テーマの勉強会の開催要望
- 令和8年4月以降の開催を検討
- 今後は、より多くの薬局の参加を希望

ご清聴ありがとうございました

